

## 彙報

雑誌名	日文研
巻	55
ページ	62-72
発行年	2015-09-30
URL	<a href="http://doi.org/10.15055/00006471">http://doi.org/10.15055/00006471</a>

## 彙報

雑誌名	日文研
巻	55
ページ	62-72
発行年	2015-09-30
URL	<a href="http://doi.org/10.15055/00006471">http://doi.org/10.15055/00006471</a>

## 彙報

(平成二六年一〇月一日)

平成二七年三月三十一日

### 人事異動

◎平成二六年一〇月三十一日 契約期間満了

(客員)

外国人研究員 王 鍵 (中国社会科学院近

代史研究所研究員)

◎平成二六年一月三〇日 契約期間満了

外国人研究員 望月みや (ニューヨーク大学

アブダビ校美術研究所准教授)

◎平成二七年一月一日 契約

(客員)

外国人研究員 高 文勝 (天津師範大学政治

と行政学院教授)

外国人研究員 リチャード・エドガー・トラ

ンス (オハイオ州立大学教授)

外国人研究員 ケヴィン・マイケル・ドーク

(ジョージタウン大学教授)

◎平成二七年二月一日 契約

(客員)

外国人研究員 ミシエル・モール (ハワイ大

学マノア校准教授)

外国人研究員 李 容相 (又松大学教授)

◎平成二七年二月二八日 契約満了

(客員)

外国人研究員 楊 際開 (杭州師範大学国学

院専任研究員)

◎平成二七年三月三十一日 定年退職

研究部教授 笠谷和比古

研究部教授 末木文美士

文化資料研究企画室教授 早川聞多

◎平成二七年三月三十一日 契約満了

(特任研究員)

特任准教授 寺村裕史

(客員)

外国人研究員 ルチアナ・ガリアーノ (カ・

フォスカリ大学客員教授)

外国人研究員 王 成 (清華大学教授)

外国人研究員 王 明珂 (スタンフォード大

学客員研究員)

外国人研究員 朴 順愛 (湖南大学教授)

◎平成二七年三月三十一日 委嘱期間満了

(客員)

教授 飯塚 靖 (下関市立大学経済学部教授)

教授 滝澤修身 (長崎純心大学教授)

教授 御厨 貴 (東京大学先端科学技術研究

センター客員教授)

准教授 楠 綾子 (関西学院大学国際学部 准

教授)

### 日文研フォーラム

第二八二回「平成二六年一〇月一日(火)」

発表者 エミリア・シャロンドン (トゥー

ルーズ・ル・ミライユ大学講師/日文研外

国人研究員)

テーマ 日本が自ら日本を世界に紹介した最

初の本にみる日本の美意識について

コメンテーター 稲賀繁美教授

第二八三回「平成二六年一月二七日(木)」

発表者 ステイーナ・イエェルプリン (ストックホルム大学准教授/日文研外来研究員)

テーマ 日本古典文学における隠喩の考察  
——主に歌ことば、翻訳、隠喩の展開について

コメントーター 荒木 浩教授

第二八四回 [平成二六年一月二日(金)]  
『大英博物館「春画展」報告』

発表者 アンドリュウ・ガーストル (ロンドン大学SOAS教授/日文研外国人研究員)

テーマ タブーを破る—春画研究・展示の意義

発表者 矢野明子 (ロンドン大学SOAS)

—ジャパン・リサーチ・センターリサーチ・アソシエイト/日文研外来研究員)

テーマ 日本の春画をイギリスはどう見たか  
発表者 石上阿希 (立命館大学衣笠総合研究機構専門研究員)

テーマ 大英博物館春画展を受けて—日本側のリアクション

コメントーター 早川聞多教授

第二八五回 [平成二七年一月三日(火)]

発表者 朴 順愛 (湖南大学教授/日文研外国人研究員)

テーマ グローバル時代における日本大衆文化とその変容—大河ドラマ分析を通じて

コメントーター 谷川建司 (早稲田大学政治経済学術院客員教授/日文研客員教授)、山田奨治教授

第二八六回 [平成二七年二月一日(火)]

発表者 ランジャナ・ムコバディヤ (デリー大学准教授/日文研外国人研究員)

テーマ 仏教と平和主義—日本仏教の挑戦  
コメントーター 末木文美士教授

第二八七回 [平成二七年三月一日(火)]  
発表者 アンドリヤナ・ツヴェトコビッチ (駐日マケドニア共和国特命全権大使)

テーマ 私の日本映画研究とソフトパワー外交

コメントーター 高橋 剣 (東映株式会社京都撮影所製作部次長/京都ヒストリカ国際映画祭事務局長)、田口栄治 (国際交流基

金理事)、亀田真澄 (東京大学助教授)

### 木曜セミナー

第二二一回 [平成二六年一月二六日(木)]  
話者 森 洋久准教授

テーマ KATSURAI—古地図 Google Mapの試み—

第二二二回 [平成二六年一月二〇日(木)]  
話者 坪井秀人教授

テーマ 国文学者の戦中戦後—榊原美文の場合

第二二三回 [平成二六年一月一八日(木)]  
話者 瀧井一博教授

テーマ 帝国大学とは何だったのか  
第二二四回 [平成二七年一月二二日(木)]

話者 寺村裕史特任准教授  
テーマ 文化資料のデジタル化と情報発信

第二二五回 [平成二七年二月一九日(木)]  
話者 中町美香子機関研究員

テーマ 平安時代の内裏と平安京

## Nichibunken Evening Seminar

第一九〇回「平成二六年九月四日（木）」

発表者 ゲルガナ・ペトコヴァ（ソフィア大学）  
 「聖クリメント・オフリドスキ」准教授  
 ／日文研外国人研究員）

テーマ SuperNATURAL Japan: Digging Out  
 the Embedded Cultural Realities in Japanese  
 Fairy Tales

第一九一回「平成二六年一〇月二日（木）」

発表者 望月みや（ニューヨーク大学アブダ  
 ビ校美術研究所准教授／日文研外国人研究  
 員）

テーマ Yashiro's Details and the Problem of  
 Place in Art History

第一九二回「平成二六年一一月六日（木）」

発表者 エミリア・シャロンドン（トゥー  
 ルーズ・ル・ミライユ大学講師／日文研外  
 国人研究員）

テーマ Tree Blossoms and Rock Gardens: On  
 the Duality of the Japanese Sense of Beauty

第一九三回「平成二六年一二月四日（木）」

発表者 アレクサンドル・ベノ（立命館大学  
 日本学術振興会外国人特別研究員）

テーマ Rethinking the Concept of New Reli-  
 gions in Japan: The Case of Agonshū

第一九四回「平成二七年二月五日（木）」

発表者 アマウリ・A・ガルシア・ロドリゲ  
 ス（エル・コレヒオ・デ・メヒコ大学院大  
 学教授／日文研国際交流基金フェロー）

テーマ The Circuits of Production, Distribu-  
 tion, and Consumption as a Possible Narrative  
 within Japanese Art History: Some Preliminary  
 Considerations

第一九五回「平成二七年三月五日（木）」

発表者 ルチアナ・ガリアーノ（日文研外国  
 人研究員）

テーマ Music as Representation: Thoughts and  
 Remarks on Japanese Fluxus

## 学術講演会

第五八回「平成二七年三月二五日（水）」

「筈谷教授・末木教授・早川教授退任記念講  
 演会 江戸を語る」

講演者 筈谷和比古教授

テーマ 江戸時代の新しい歴史像を求めて

講演者 末木文美士教授

テーマ 思想史からみた近世

講演者 早川聞多教授

テーマ 江戸絵画に見る表裏一体の表現

司会 倉本一宏教授

## 日文研・アイハウス連携フォーラム

第二回「平成二六年一一月一日（木）」

講演者 王 成（清華大学教授／日文研外  
 国人研究員）

テーマ 越境する『大衆文学』の力なぜ中  
 国で松本清張が流行するのか

第三回「平成二七年二月一二日（木）」

講演者 アンドリュウ・ガーストル（ロンド  
 ン大学SOAS教授／日文研外国人研究員）

テーマ 江戸時代にみるユーモア、パロディ、  
 タブー―浮世絵と春画の社会的意義

一般公開

〔平成二六年一〇月三〇日(木)〕

【日文研外国人研究員大集合！——それぞれ  
の日本研究——】

出演者 王 成(清華大学教授／日文研外国人研究員)、王 明珂(中央研究院歴史言語研究所特聘研究員／日文研外国人研究員)、アンドリュウ・ガーストル(ロンドン大学SOAS教授／日文研外国人研究員)、ルチアナ・ガリアーノ(カ・フォスアンドリュウ・ゴードン(ハーバード大学教授／日文研外来研究員)、エミリア・シャロンドン(トゥールーズ・ル・ミライユ大学講師／日文研外国人研究員)、陳 紅(浙江工商大学日本語文化学院講師／日文研外国人来訪研究員)、朴 正一(釜山外国語大学校教授／日文研外国人研究員)、ブライアン・ピクトリア(オックスフォード大学付属仏教研究所研究員／日文研外国

人來訪研究員)、黄 自進(中央研究院近代史研究所研究員／日文研外国人研究員)、ランジャー・ムコバディヤヤ(デリー大学准教授／日文研外国人研究員)、矢野明子(ロンドン大学SOASジャパン・リサーチ・センタリサーチ・アソシエイト／日文研外国人來訪研究員)、楊 際開(杭州師範大学国学院専任研究員／日文研外国人研究員)、王 鍵(中国社会科学院近代史研究所研究員／日文研外国人研究員)

司 会 佐野真由子准教授  
【所員の新聞図書を斬る！】  
講 評 末木文美士教授  
出演者 小松和彦所長、井上章一副所長、荒木 浩教授、稲賀繁美教授、笠谷和比古教授、早川聞多教授、磯前順一准教授  
司 会 倉本一宏教授  
【シンポジウム】  
「再発見・京のみやこ」  
テーマ 『源氏物語』と平安の都  
話 者 倉本一宏教授

テーマ 知られざる中世京都の地図  
話 者 榎本 渉准教授  
テーマ 古地図の作り方——京都を中心に  
話 者 森 洋久准教授  
テーマ 町家と西洋館  
話 者 井上章一副所長  
司 会 笠谷和比古教授

伝統文化芸術総合研究プロジェクト公演会

〔平成二七年二月一七日(火)〕  
【能楽と西洋オペラとの統合の試み―楽劇『保元物語』をめぐる―】  
講演者 笠谷和比古教授  
テーマ 楽劇『保元物語』と制作趣旨  
講演者 武内基朗(作曲家)  
テーマ オペラ版『保元物語』の楽曲解説と演奏

国際研究集会

第四六回〔平成二七年二月二〇日(金)〕

二二日(土)】

テーマ 比較思想から見た日本仏教

研究代表者 末木文美士教授

第四七回【平成二七年三月一日(日)】～三日

【(火)】

テーマ 夢と表象―その国際的・学際的研究

展開の可能性

研究代表者 荒木 浩教授

### 公開講演会

【海外シンポジウム】【平成二六年十一月一日

日(火)】

テーマ 映画史のなかの太秦

講演者 上野隆三(東映京都撮影所殺陣師・

東映剣会特別会員)、大野裕之(日本チャッ

プリン協会会長/脚本家/プロデュー

サー)、小川順子(中部大学人文学部・大

学院国際人間学研究科准教授)

司 会 細川周平教授

【第四七回国際研究集会】【平成二七年三月二

日(月)】

「夢を観る／夢を聴く―夢の文化と芸術世界

―」

テーマ 夢と表象研究の展望―日本古典文学

の視点から

講演者 荒木 浩教授

テーマ 作曲された悪夢

講演者 伊東信宏(大阪大学教授)

テーマ 西洋美術における夢

講演者 高階秀爾(大原美術館館長/東京大

学名誉教授)

司 会 マルクス・リュッターマン准教授

### 海外シンポジウム

【平成二六年十一月一日(火)】～三日(木)】

テーマ 新領域・次世代の日本研究

場 所 国際日本文化研究センター

代表者 劉 建輝教授、瀧井一博教授

### 海外ワークショップ等

【平成二六年十一月二五日(火)】

テーマ 日本関連在外資料調査研究事業「近

代日本と張家口」

場 所 中国・清華大学

代表者 劉 建輝教授

【平成二七年二月二五日(水)】

テーマ 日本大衆文化に関する通時的研究の

国際的展開

場 所 韓国・漢陽大学校

代表者 松田利彦教授

【平成二七年三月二三日(月)】

テーマ 日本大衆文化に関する通時的研究の

国際的展開

場 所 中国・清華大学

代表者 劉 建輝教授

### シンポジウム

第一二〇回【平成二六年一〇月二九日(水)】

主宰者 劉 建輝教授

テーマ 交錯する外交と貿易―明清交替期前

後の東アジア三国関係

第一二二回【平成二六年十一月五日(金)】

主宰者 坪井秀人教授

テーマ 言葉の境界をこえる 詩とその翻訳  
をめぐって

第一二二回 「平成二七年一月二〇日(土)」

一日(日)】

主宰者 小松和彦所長

テーマ 怪異・妖怪文化研究の現在

第一二三回 「平成二七年二月七日(土)〜八

日(日)】

主宰者 倉本一宏教授

テーマ 日本古代の地域と交流

第一二四回 「平成二七年三月一三日(金)〜

一五日(日)】

主宰者 大塚英志教授

テーマ 学生・教員参加による日本アニメー

ション・まんが研究及び教育法をテーマと

する共同研究集会

第一二五回 「平成二七年三月二四日(火)」

主宰者 瀧井一博教授

テーマ 記憶の改変―「私は貝になりたい」

と記憶の政治学

### レクチャー

第一四五回 「平成二七年三月二〇日(金)」

発表者 ティル・ワインガートナー(イン

ディペンデント・スカラー)

テーマ 「女性お笑い芸人」という存在―男

性中心のお笑いの世界で女性は人を笑わせ

ることができるか―

主宰者 山田奨治教授

### 会議

#### 運営会議

第三五回 平成二六年一月二二日(金)

第三六回 平成二七年 三月一三日(金)

#### 調整会議

第二一九回 平成二六年一〇月 一日(水)

第二二〇回 平成二六年一〇月一五日(水)

第二二一回 平成二六年十一月 五日(水)

第二二二回 平成二六年十一月一八日(火)

第二二三回 平成二六年十二月 三日(水)

第二二四回 平成二六年十二月一七日(水)

第二二五回 平成二七年 一月 七日(水)

第二二六回 平成二七年 一月二一日(水)

第二二七回 平成二七年 二月 四日(水)

第二二八回 平成二七年 二月一八日(水)

第二二九回 平成二七年 三月 四日(水)

第二三〇回 平成二七年 三月一七日(水)

#### センター会議

第二一九回 平成二六年一〇月 二日(木)

第二二〇回 平成二六年一〇月一六日(木)

第二二一回 平成二六年十一月 六日(木)

第二二二回 平成二六年十一月二〇日(木)

第二二三回 平成二六年十二月 四日(木)

第二二四回 平成二六年十二月一八日(木)

第二二五回 平成二七年 一月 八日(木)

第二二六回 平成二七年 一月二二日(木)

第二二七回 平成二七年 二月 五日(木)

第二二八回 平成二七年 二月一九日(木)

第二二九回 平成二七年 三月 五日(木)

第二三〇回 平成二七年 三月一九日(木)



## 外国人来訪者

平成二六年一〇月一〇日 国際交流基金関西

国際センター・平成二六年度専門家日本語

研修（文化・学術）一行

平成二七年三月九日 アンドリヤナ・ツヴェ

トコピッチ（駐日マケドニア共和国特命全

権大使）

## 海外渡航

坪井秀人 教授

目的 ウェスタン・ワシントン大学、

ニューヨーク大学、コロンビア大学にて学

会参加及びワークショップ参加

目的国 アメリカ

期間 平成二六年一〇月九日～一七日

荒木 浩 教授

目的 韓国外国語大学校にてシンポジウム

参加

目的国 韓国

期間 平成二六年一〇月一〇日～一三日

瀧井一博 教授

目的 ペンシルバニア大学にてシンポジウ

ム参加及び発表

目的国 アメリカ

期間 平成二六年一〇月一六日～二二日

郭 南燕 准教授

目的 ペンシルバニア大学にてシンポジウ

ム参加及び発表

目的国 アメリカ

期間 平成二六年一〇月一六日～二二日

末木文美士 教授

目的 韓国外国語大学校にてシンポジウム

参加、発表及び研究打合せ

目的国 韓国

期間 平成二六年一〇月二四日～二七日

荒木 浩 教授

目的 中国人民大学にてシンポジウム参加

目的国 中国

期間 平成二六年一〇月二四日～二八日

松田利彦 教授

目的 翰林大学校、ソウル大学校医科大

学、提岩里三・一運動殉国記念館にて研究

会参加、発表及び資料調査

目的国 韓国

期間 平成二六年一〇月三〇日～十一月四日

坪井秀人 教授

目的 ゲーテ・インステイトウト東アジ

ア支部、漢陽大学校比較歴史文化研究所に

てシンポジウム参加及び発表

目的国 韓国

期間 平成二六年十一月五日～九日

郭 南燕 准教授

目的 上海図書館、浙江図書館、浙江工商

大学日本語文化学院にて資料調査

目的国 中国

期間 平成二六年十一月一三日～二一日

パトリシア・フィスター 教授

目的 サンディエゴ・コンベンションセン

ターにて学会参加及び発表

目的国 アメリカ

期間 平成二六年十一月二〇日～二五日

劉建輝 教授

目的 清華大学、張家口市内にてシンポジウム参加、発表及び現地調査

目的国 中国

期間 平成二六年一月二四日〜二八日

伊東貴之 教授

目的 中央研究院近代史研究所にて講演、講義、史料調査及び研究打合せ

目的国 台湾

期間 平成二六年一月二日〜二二日

荒木浩 教授

目的 ベトナム国家大学ホーチミン市校人  
民社会科学大学にて講義及び研究指導

目的国 ベトナム

期間 平成二六年一月二三日〜平成二七年一月六日

榎本涉 准教授

目的 温嶺清港鎮、楚門鎮、玉環庁城跡等  
にて史跡調査

目的国 中国

期間 平成二六年一月二九日〜二月六日

北浦寛之 助教

目的 フィリピン大学デイリマン校にて資料調査

目的国 フィリピン

期間 平成二六年一月七日〜一二日

細川周平 教授

目的 延世大学にてシンポジウム参加及び発表

目的国 韓国

期間 平成二六年一月一日〜一四日

パトリシア・フィスター 教授

目的 アンコールワット、アンコールトム、  
ロリュオス遺跡等にて現地調査

目的国 カンボジア

期間 平成二六年一月一九日〜二四日

郭南燕 准教授

目的 上海図書館にて資料調査

目的国 中国

期間 平成二六年一月三一日〜平成二七年一月七日

坪井秀人 教授

目的 ワシントン大学にて研究、講義及び講演

目的国 アメリカ

期間 平成二七年一月六日〜三月六日

稲賀繁美 教授

目的 ゲッチンゲン大学にてコロキウム参加、  
Verlag Königshausen & Neumannにて  
研究打合せ、パリ日本文化会館にて講演会

参加

目的国 ドイツ、フランス

期間 平成二七年一月二日〜二五日

佐野真由子 准教授

目的 ゲッチンゲン大学にてコロキウム参加

目的国 ドイツ

期間 平成二七年一月三一日〜一八日

松田利彦 教授

目的 ソウル大学校にて資料調査及び講演

目的国 韓国

期間 平成二七年一月一八日〜二〇日

## 大塚英志 教授

目的 Touhouse Manga にてワークショップ  
 プ開催、アンダレーム国際漫画祭、AAA  
 日本語学校等にて視察  
 目的国 フランス

期間 平成二七年一月二五日～二月四日

## 稲賀繁美 教授

目的 漢陽大学にてシンポジウム参加  
 目的国 韓国

期間 平成二七年二月五日～八日

## 佐野真由子 准教授

目的 イギリス国立公文書館、ヴィクトリア  
 ア&アルバート美術館、大英図書館にて資  
 料閲覧及び情報収集  
 目的国 イギリス

期間 平成二七年二月一日～二二日

## 小松和彦 所長

目的 漢陽大学にて基幹研究プロジェクト  
 に係る座談会参加  
 目的国 韓国

期間 平成二七年二月二四日～二六日

## 井上章一 副所長

目的 漢陽大学にて基幹研究プロジェクト  
 に係る座談会参加  
 目的国 韓国

期間 平成二七年二月二四日～二六日

## 荒木浩 教授

目的 漢陽大学にて基幹研究プロジェクト  
 に係る座談会参加  
 目的国 韓国

期間 平成二七年二月二四日～二六日

## 松田利彦 教授

目的 漢陽大学にて基幹研究プロジェクト  
 に係る座談会参加  
 目的国 韓国

期間 平成二七年二月二四日～二六日

## 山田奨治 教授

目的 漢陽大学にて基幹研究プロジェクト  
 に係る座談会参加  
 目的国 韓国

期間 平成二七年二月二五日～二六日

## 磯前順一 准教授

目的 ブカレスト大学、ヨーロッパ中央大  
 学にてシンポジウム参加、講演及び研究交流  
 目的国 ルーマニア、ハンガリー

期間 平成二七年二月二六日～三月六日

## 榎本涉 准教授

目的 イモギリ陵墓、ポロブドゥル遺跡、  
 プランバナン遺跡等にて現地調査  
 目的国 インドネシア

期間 平成二七年二月二八日～三月六日

## 細川周平 教授

目的 ヴェネチア大学、ルイス・ビジネ  
 ス・スクール、ナポリ東洋大学等にて学会  
 参加、発表及び総研大広報活動  
 目的国 イタリア

期間 平成二七年二月二八日～三月一三日

## 劉建輝 教授

目的 国立台湾大学日本研究中心にて  
 フォーラム参加及び発表  
 目的国 台湾

期間 平成二七年三月四日～七日

大塚英志 教授

目的 四川外国語大学にてシンポジウム参加、発表及び大足石刻見学

目的国 中国

期間 平成二七年三月六日～一日

マルクス・リュッターマン 准教授

目的 ドイツ国立図書館、テュービンゲン

大学、フンボルト大学にて史料調査、シンポジウム参加、発表及び研究打合せ

目的国 ドイツ

期間 平成二七年三月九日～三一日

小松和彦 所長

目的 清華大学にて基幹研究プロジェクトに係るワークショップ参加

目的国 中国

期間 平成二七年三月二日～二四日

井上章一 副所長

目的 清華大学にて基幹研究プロジェクト

に係るワークショップ参加

目的国 中国

期間 平成二七年三月二日～二四日

荒木 浩 教授

目的 清華大学にて基幹研究プロジェクト

に係るワークショップ参加

目的国 中国

期間 平成二七年三月二日～二四日

劉 建輝 教授

目的 清華大学にて基幹研究プロジェクトに係るワークショップ参加

目的国 中国

期間 平成二七年三月二日～二四日

細川周平 教授

目的 清華大学にて基幹研究プロジェクトに係るワークショップ参加

目的国 中国

期間 平成二七年三月二日～二四日

ジョン・ブリーン 教授

目的 シェラトン・シカゴホテル&タワーにてシンポジウム参加、情報収集及び広報活動

報活動

目的国 アメリカ

期間 平成二七年三月二五日～三〇日

郭 南燕 准教授

目的 シェラトン・シカゴホテル&タワーにてシンポジウム参加、情報収集及び広報活動

報活動

目的国 アメリカ

期間 平成二七年三月二六日～三一日

パトリシア・フィスター 教授

目的 シェラトン・シカゴホテル&タワー、デポール大学にてシンポジウム参加、広報活動及び研究打合せ

広報活動及び研究打合せ

目的国 アメリカ

期間 平成二七年三月二六日～四月一日

訃報

杉本秀太郎本センター名誉教授が、二〇一五年五月二七日に逝去されました。  
享年八四。  
謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。